

第2章-3 全国や他県と比べた新潟県の特徴を知りたい

例えば 全国や他県と比較した本県産業の特徴をとらえたい

産業大分類	付加価値額(百万円)				
	新潟	群馬	富山	長野	全国
全産業（公務を除く）	4,228,160	4,321,477	2,233,664	4,008,061	336,259,518
農林漁業	50,934	29,152	17,423	39,333	1,190,189
鉱業，採石業，砂利採取業	9,944	1,166	969	1,593	329,165
建設業	497,791	324,602	227,963	351,924	23,576,836
製造業	1,012,756	1,487,703	701,193	1,275,201	55,128,019
電気・ガス・熱供給・水道業	76,106	50,808	30,338	69,543	3,849,527
情報通信業	78,046	57,283	58,161	77,498	20,125,383
運輸業，郵便業	196,393	201,013	96,126	147,731	12,860,297
卸売業，小売業	822,683	759,305	370,004	693,757	54,340,918
金融業，保険業	179,464	167,681	94,290	185,918	18,170,705
不動産業，物品賃貸業	82,278	73,735	46,403	84,035	12,049,766
学術研究，専門・技術サービス業	133,403	180,173	80,212	109,286	22,322,110
宿泊業，飲食サービス業	109,006	95,467	50,863	136,402	6,668,695
生活関連サービス業，娯楽業	77,480	70,414	36,217	72,288	5,084,015
教育，学習支援業	95,567	88,833	47,619	58,028	7,057,317
医療，福祉	533,502	494,152	242,393	448,393	72,758,554
複合サービス事業	63,476	31,003	24,092	64,992	2,384,648
サービス業（他に分類されないもの）	209,332	208,987	109,397	192,138	18,363,375

資料：経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

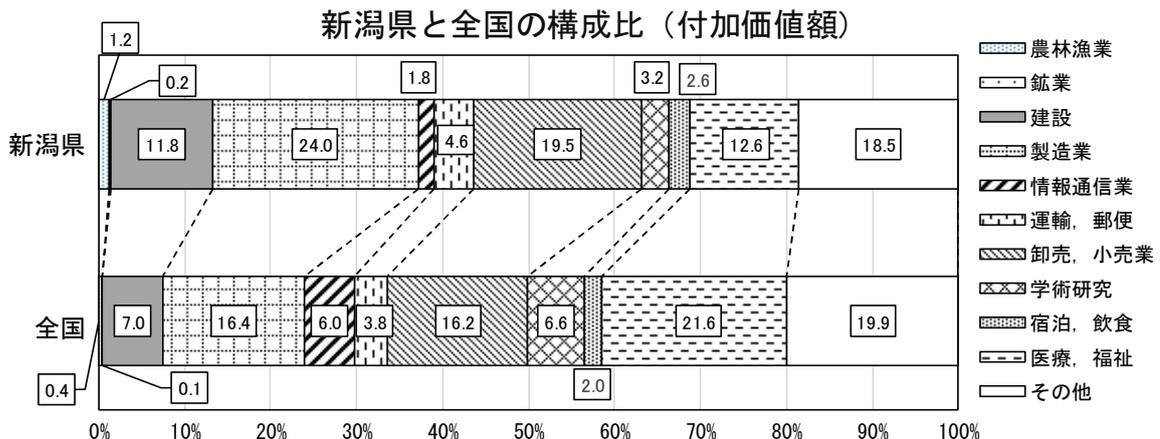
分析の仕方①

○構成比：全体に占めるそれぞれの内訳の割合

【計算式】 構成比 = 内訳の値 ÷ 全体の値 × 100

例) 新潟県製造業の構成比 = 1,012,756 ÷ 4,228,160 × 100 = 24.0(%)

付加価値額のデータからでは、本県の産業構造の特徴がわかりにくいことに加え、規模が異なる全国値と比較することも難しい。しかし、構成比は絶対量ではなく、トータルを100にした相対量であるため、規模の大小にかかわらず、対等に比較することができる。



分析結果からわかること

本県は製造業、建設業などの2次産業の割合が高い。一方、全国では情報通信業をはじめ、医療、福祉などの割合が、本県よりも高くなっていることがわかる。

分析の仕方②

○特化係数：全国の構成比を基準（=1.0）として、比較したい地域の構成比が全国平均と比べてどのくらい偏っているのかを表した値。特化係数が1より大きい産業は、全国と比べて特化しているといえる。

【計算式】	特化係数	=	地域や各県の構成比	÷	全国の構成比
	例) 新潟県製造業の特化係数		24.0	÷	16.4 = 1.5

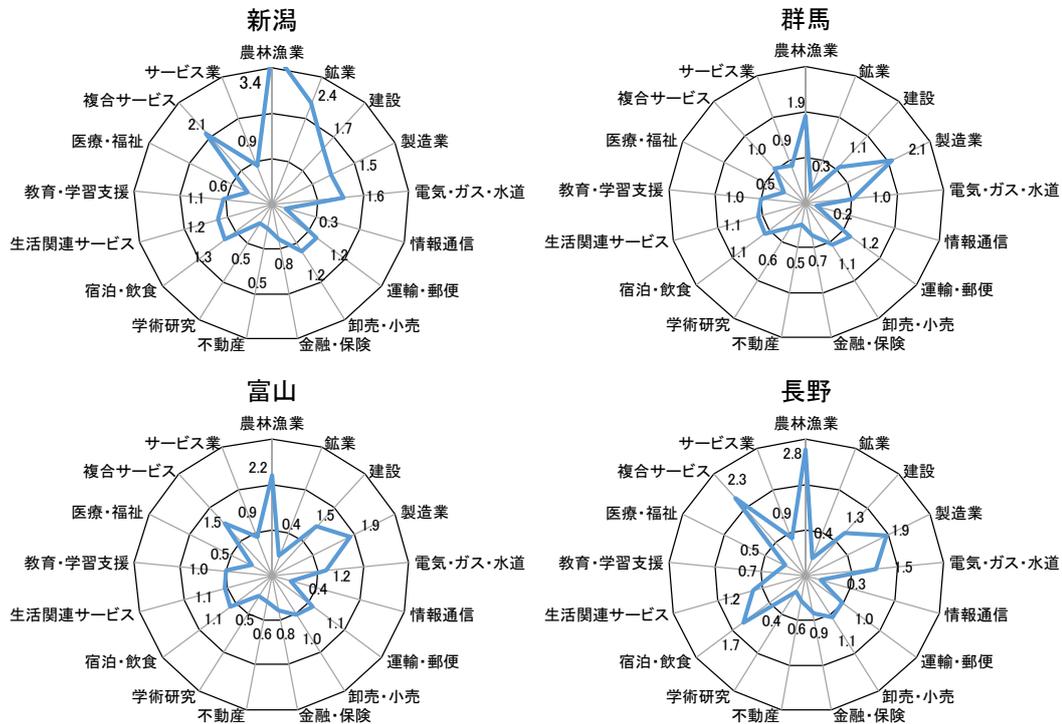
産業別付加価値額構成比

	新潟	群馬	富山	長野	全国
農林漁業	1.2	0.7	0.8	1.0	0.4
鉱業、採石業、砂利採取業	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1
建設業	11.8	7.5	10.2	8.8	7.0
製造業	24.0	34.4	31.4	31.8	16.4
電気・ガス・熱供給・水道業	1.8	1.2	1.4	1.7	1.1
情報通信業	1.8	1.3	2.6	1.9	6.0
運輸業、郵便業	4.6	4.7	4.3	3.7	3.8
卸売業、小売業	19.5	17.6	16.6	17.3	16.2
金融業、保険業	4.2	3.9	4.2	4.6	5.4
不動産業、物品賃貸業	1.9	1.7	2.1	2.1	3.6
学術研究、専門・技術サービス業	3.2	4.2	3.6	2.7	6.6
宿泊業、飲食サービス業	2.6	2.2	2.3	3.4	2.0
生活関連サービス業、娯楽業	1.8	1.6	1.6	1.8	1.5
教育、学習支援業	2.3	2.1	2.1	1.4	2.1
医療、福祉	12.6	11.4	10.9	11.2	21.6
複合サービス事業	1.5	0.7	1.1	1.6	0.7
サービス業（他に分類されないもの）	5.0	4.8	4.9	4.8	5.5

特化係数

	新潟	群馬	富山	長野
農林漁業	3.4	1.9	2.2	2.8
鉱業	2.4	0.3	0.4	0.4
建設業	1.7	1.1	1.5	1.3
製造業	1.5	2.1	1.9	1.9
電気・ガス・水道業	1.6	1.0	1.2	1.5
情報通信業	0.3	0.2	0.4	0.3
運輸業	1.2	1.2	1.1	1.0
卸売業	1.2	1.1	1.0	1.1
金融業	0.8	0.7	0.8	0.9
不動産業	0.5	0.5	0.6	0.6
学術研究	0.5	0.6	0.5	0.4
医療・福祉	1.3	1.1	1.1	1.7
生活関連サービス	1.2	1.1	1.1	1.2
教育	1.1	1.0	1.0	0.7
複合サービス	0.6	0.5	0.5	0.5
サービス業	2.1	1.0	1.5	2.3
その他	0.9	0.9	0.9	0.9

・特化係数はExcelのグラフツールを使用してレーダーチャートにすると、特徴を捉えやすく、比較も容易になる。



分析結果からわかること

- ・新潟県は、農林漁業の特化係数が最も高く、次いで鉱業、採石業、砂利採取業となっている。
- ・新潟県の農林漁業及び建設業は、特化係数、構成比ともに他の3県よりも高い。一方、本県で最も構成比の高い製造業は、他の3県に比べると、特化係数が低く、近隣県ほど製造業に付加価値額が集中していない。